



平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東大

上場会社名 燦ホールディングス株式会社
コード番号 9628 URL <http://www.san-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古内 耕太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大井 信三

TEL 06-6226-1716

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,392	3.4	360	175.5	355	185.2	161	
23年3月期第1四半期	4,247	0.7	130	36.6	124	30.3	2	

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 161百万円 (%) 23年3月期第1四半期 2百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	28.77	
23年3月期第1四半期	0.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	24,483	18,979	77.5	3,379.09
23年3月期	25,022	18,930	75.7	3,370.32

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 18,979百万円 23年3月期 18,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		20.00		20.00	40.00
24年3月期					
24年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,590	1.6	480	57.7	470	57.5	180	221.7	32.05
通期	17,690	1.6	1,140	3.0	1,110	4.0	480	0.8	85.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	6,082,008 株	23年3月期	6,082,008 株
期末自己株式数	24年3月期1Q	465,212 株	23年3月期	465,212 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	5,616,796 株	23年3月期1Q	5,616,796 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然厳しい状況にあるなかで、生産や輸出に次第に改善の動きがみられるようになってまいりました。先行きについても、電力供給の制約などの景気の下振れリスクは存在するものの、生産活動の回復につれ、緩やかな上昇軌道をたどるものと期待されております。

葬祭市場においては、葬儀に対する社会的関心の高まりを反映し、葬儀業者の信頼性・葬儀費用の透明性が一層注目をあびるようになるとともに、葬儀の小型化傾向、葬儀単価の下落傾向は依然継続しています。その反面、安定的な需要が予想される葬祭業界においては、新規会館出店を伴う業者間の顧客獲得競争が、一段と熾烈になっています。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間（以下、当期）の営業収益は43億92百万円（前年同四半期（以下、前年同期）比3.4%増）、営業利益は3億60百万円（前年同期比175.5%増）、経常利益は3億55百万円（前年同期比185.2%増）、四半期純利益は1億61百万円（前年同期は2百万円の四半期純損失）と、増収増益となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

公益社グループ

公益社グループの中核会社である(株)公益社では、葬儀件数が前年同期比3.1%増加しました。これを規模別・地域別にみると、大規模葬儀（金額5百万円超）の件数は横ばいで推移しましたが、一般葬の件数は、関西圏では0.9%増加し、首都圏では19.3%と高率で増加した結果、トータルで3.2%増加しました。

こうした件数の増加は、効果的なマーケティング戦略の実施、人材教育への注力など、これまで継続して取り組んできた一連の施策の結果と考えられます。さらに、平成23年4月「公益社 森小路会館」、同年5月「公益社 住吉御影会館」が相次いで新規営業を開始したことも、この件数増加に寄与しました。

しかしながら、前年6月下旬から葬儀における料理の取引形式を変更し手数料収入とした影響により、一部期間のみが対象となった前年同期と比較し、当期の営業収益は減収となりましたが、実質的には増収となっております。なお、この取引形式変更による利益への影響はありません。

アフター販売については、前年同期比減収となりました。この主な要因は、法事法要収入が前述の料理取引形式の変更により減収となったことによるものです。なお、この変更に伴う影響を除くと、法事法要収入は実質的には増収となっております。また、返礼品販売収入は香典を辞退する葬儀の比率が高まる厳しい環境の下、販売強化に加え、葬儀件数の増加により増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は36億65百万円（前年同期比2.6%増）となり、仕入コスト削減効果もあって、セグメント利益は1億57百万円（前年同期は20百万円のセグメント損失）となりました。

葬仙グループ

葬仙グループの(株)葬仙におきましては、葬儀件数は、受注が好調だった前年同期と比べて7.6%減少したものの、葬儀単価の向上及びアフター販売の好調が、件数減による減収を一部補いました。

この結果、当セグメントの売上高は3億53百万円（前年同期比1.7%減）となり、セグメント損失は2百万円（前年同期は3百万円のセグメント利益）となりました。

タリイグループ

タリイグループの(株)タリイに関しましては、葬儀件数は前年同期比ほぼ横ばいで推移しつつ、葬儀単価が前年同期比上昇しました。

この結果、当セグメントの売上高は3億6百万円（前年同期比3.6%増）となり、セグメント利益は49百万円（前年同期比50.4%増）となりました。

持株会社グループ

持株会社グループの燦ホールディングス(株)におきましては、主に、グループ各社からの配当収入が減少し、また、グループ会社経営体制の変更に伴い経営指導料収入の減少もありましたが、BPR（業務の抜本的革新）の一環として保有土地を外部企業に賃貸したことにより不動産収入は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は12億71百万円（前年同期比0.5%増）となり、セグメント利益は4億91百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当期末の資産合計は、244億83百万円となり、前連結会計年度末比5億39百万円減少しました。流動資産は30億50百万円となり、3億71百万円減少しました。主な要因は、当期において賞与、配当、税金等の支払により現金及び預金が4億95百万円減少したためです。固定資産は214億32百万円となり、1億67百万円減少しました。主な要因は、「公益社 住吉御影会館」の開設による増加があった一方、設備投資を上回る減価償却費の計上により有形固定資産が59百万円減少し、さらに、のれんが51百万円、不動産信託受益権が27百万円減少したためです。

当期末の負債合計は、55億3百万円となり、前連結会計年度末比5億88百万円減少しました。流動負債は25億17百万円となり、4億44百万円減少しました。主な要因は、税金等の支払により未払法人税等が2億90百万円減少し、賞与引当金が2億51百万円減少したためです。固定負債は29億85百万円となり、1億43百万円減少しました。主な要因は、借入金の返済により長期借入金が1億45百万円減少したためです。

当期末の純資産合計は、189億79百万円となり、前連結会計年度末比49百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が四半期純利益により1億61百万円増加した一方、配当金の支払により1億12百万円減少したためです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.7%から77.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年度3月期の連結業績予想につきましては、平成23年7月29日に修正公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,394,299	1,899,181
営業未収入金	420,913	476,725
商品及び製品	162,818	172,765
原材料及び貯蔵品	40,782	46,618
その他	405,213	457,412
貸倒引当金	1,636	1,861
流動資産合計	3,422,391	3,050,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,708,546	7,709,899
土地	10,002,132	10,002,132
リース資産(純額)	204,155	202,831
その他(純額)	212,066	152,349
有形固定資産合計	18,126,900	18,067,213
無形固定資産		
のれん	1,037,211	985,371
その他	242,002	226,049
無形固定資産合計	1,279,214	1,211,421
投資その他の資産		
長期貸付金	552,677	544,092
不動産信託受益権	557,544	529,710
差入保証金	663,049	662,355
その他	484,580	482,210
貸倒引当金	63,698	64,600
投資その他の資産合計	2,194,153	2,153,768
固定資産合計	21,600,268	21,432,402
資産合計	25,022,659	24,483,246

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	600,672	566,669
短期借入金	300,000	320,834
1年内返済予定の長期借入金	612,853	582,000
リース債務	56,629	58,868
未払法人税等	364,848	74,435
賞与引当金	416,024	164,456
役員賞与引当金	40,200	7,725
その他	571,349	742,761
流動負債合計	2,962,577	2,517,750
固定負債		
社債	1,500,000	1,500,000
長期借入金	1,035,000	889,500
リース債務	157,733	154,600
退職給付引当金	21,082	21,898
資産除去債務	123,414	124,782
その他	292,478	295,078
固定負債合計	3,129,709	2,985,859
負債合計	6,092,287	5,503,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,568,157	2,568,157
資本剰余金	5,488,615	5,488,615
利益剰余金	11,886,702	11,935,964
自己株式	1,013,103	1,013,103
株主資本合計	18,930,372	18,979,635
純資産合計	18,930,372	18,979,635
負債純資産合計	25,022,659	24,483,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	4,247,327	4,392,697
営業費用	3,640,409	3,574,575
営業総利益	606,918	818,121
販売費及び一般管理費		
役員報酬	86,480	74,977
給料	94,351	100,521
賞与	2,952	5,316
賞与引当金繰入額	16,908	16,759
役員賞与引当金繰入額	8,275	7,725
貸倒引当金繰入額	-	1,210
のれん償却額	51,840	51,840
減価償却費	3,427	15,741
その他	211,916	183,735
販売費及び一般管理費合計	476,152	457,826
営業利益	130,765	360,294
営業外収益		
受取利息	3,577	3,395
受取配当金	5	5
雑収入	8,381	6,560
営業外収益合計	11,964	9,962
営業外費用		
支払利息	15,566	12,870
雑損失	2,364	1,504
営業外費用合計	17,931	14,375
経常利益	124,799	355,881
特別利益		
固定資産売却益	-	81
貸倒引当金戻入額	1,525	-
役員賞与引当金戻入額	1,075	-
特別利益合計	2,600	81
特別損失		
固定資産除却損	75	184
リース解約損	-	890
移転損失	8,620	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,612	-
特別損失合計	35,308	1,074
税金等調整前四半期純利益	92,091	354,887
法人税、住民税及び事業税	27,525	115,437
法人税等調整額	67,537	77,851
法人税等合計	95,062	193,288
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	2,970	161,598
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失()	2,970	161,598

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	2,970	161,598
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	2,970	161,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,970	161,598
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タリイ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,564,776	359,117	296,034	27,399	4,247,327	-	4,247,327
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,418	-	-	1,237,555	1,246,974	1,246,974	-
計	3,574,194	359,117	296,034	1,264,955	5,494,302	1,246,974	4,247,327
セグメント利益 又は損失()	20,047	3,837	33,139	479,243	496,172	371,373	124,799

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 371,373千円には、持株会社が連結子会社から受け取った配当金の相殺消去額 320,000千円、のれん償却額 51,840千円、債権債務の相殺消去に伴う貸倒引当金の調整額466千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タリイ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,658,348	353,081	306,751	74,515	4,392,697	-	4,392,697
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,110	-	-	1,196,998	1,204,109	1,204,109	-
計	3,665,459	353,081	306,751	1,271,514	5,596,807	1,204,109	4,392,697
セグメント利益 又は損失()	157,917	2,744	49,845	491,059	696,078	340,197	355,881

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 340,197千円には、持株会社が連結子会社から受け取った配当金の相殺消去額 288,000千円、のれん償却額 51,840千円、債権債務の相殺消去に伴う貸倒引当金の調整額 357千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。